題名：大牟田病院で神経筋疾患について CT/MRI の画像検査を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	AI(人工知能)を用いた筋量測定・筋画像診断プログラムに関する研究 （　　-　　）
当院の研究責任者（所属）	荒畑 創　(脳神経内科)
他の研究機関および各施設の研究責任者	NHO 鈴鹿病院　院長　久留　聡 NHO 刀根山病院　副院長　松村　剛 東京女子医大　小児科　准教授　石垣　景子 国立精神・神経医療研究センター 筋疾患センター長　小牧　宏文 奈良県立医大　脳神経内科　講師　江浦　信之
本研究の目的	神経筋疾患の患者さんでは，骨格筋量は筋力を反映し，疾患の進行や治療効果を判定する重要指標であり，AI(人工知能)を用いて，筋画像から骨格筋量を推定するプログラムを作成し，臨床および研究のお手伝いをすること，また，同じ AI モデルを用い，画像の位置を推定したり，筋画像から疾患の診断の推定するモデルを構築することが目的です.
研究の方法 （利用する試料・情報）	神経筋疾患で当院に受診中の患者さんの，CT または MRI 画像を用います. 年齢，性別および診断名を利用させていただきます. それ以外の個人情報は匿名化します. 研究実施期間：2026 年 4 月～ 2032 年 3 月
利用する試料・情報の該当期間	2026 年 4 月～ 2029 年 3 月
試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法	最終的な成果は国立精神・神経医療研究センターでの画像サーバー(IBISS)へ移行され，一般診療の補助になる予定です. ※IBISS は（独）国立精神・神経医療研究センターの脳病態統合イメージングセンター（IBIC）が独自に開発・提供するオンラインサポートシステムであり、画像･臨床診断情報を統合的に Web 上で閲覧できるシステムです。医療者のみが利用を申請することができます。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究は，国立精神神経センターの精神疾患開発費で行われます. 開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：中山　貴博　　　　（所属：神経筋疾患部）
備考	